

## 令和3年度第1回 液化石油ガス器具等関係基準分科会議事録

I. 日時：令和3年12月17日(金) 10:00～11:30

II. 開催方法：WEB開催

### III. 出席者(敬称略、順不同)

主査：小川

委員：渡邊、内藤、橋本、安田、加藤

事務局(KHK)：佐野、飯沼、高橋(元)、小川

オブザーバー：佐野(株式会社サイサン)

### IV. 配布資料

資料1 液化石油ガス器具等関係基準分科会 委員名簿

資料2 液化石油ガス器具等関係基準の確認、改正及び廃止について

資料3 液化石油ガス器具等関係基準の確認について

資料4 自記圧力計及び電気式ダイヤフラム式圧力計基準(KHKS 0713) 新旧対照表

資料5 液化石油ガス用対震自動ガス遮断器基準(KHKS 0714) 新旧対照表

資料6 液化石油ガス用継手金具付高圧ホース基準(KHKS 0736) 新旧対照表

資料7 液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース基準(KHKS 0721)の改正について

資料8 液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース基準(KHKS 0721) 新旧対照表

資料9 調整器基準(KHKS 0735)の改正について

資料10 調整器基準(KHKS 0735) 新旧対照表

資料11 液化石油ガス用マイコン型流量検知式自動ガス遮断装置基準の改正について

資料12 液化石油ガス用マイコン型流量検知式自動ガス遮断装置(S型)基準(KHKS 0733) 新旧対照表

資料13 液化石油ガス用マイコン型流量検知式自動ガス遮断装置(SB型)基準(KHKS 0737) 新旧対照表

参考資料1 今回改正する KHKS 一覧

参考資料2 液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース基準(KHKS 0721)規定範囲(概要)

参考資料3-1 マイコンメータ基準 見直しの概要

参考資料3-2 マイコンメータ基準(KHKS 0733) 技術上の基準の順番変更

参考資料3-3 マイコンメータ基準(KHKS 0737) 技術上の基準の順番変更

参考資料4 液化石油ガス分野技術基準整備計画(2021～2025年度)

### V. 議事

#### 1. 委員紹介等

事務局から、資料1に基づき委員の紹介を行った。

#### 2. 定足数の報告及び配布資料確認

事務局から、本日の出席委員は6名であることを報告し、規格委員会規程第14条第1項で定める分科会の定足数を満たしていることを報告した。その後、配布資料の確認を行った。

#### 3. 主査挨拶

開催にあたり、主査より挨拶があった。

#### 4. 高圧ガス保安協会技術基準の改正(1~3))について

事務局より資料 2 を用いて本日の分科会の全体説明を行った後、資料 3~資料 6 を用いて、高圧ガス保安協会技術基準の改正について説明が行われた。

説明後、以下の意見交換等が行われた後に、当該資料に基づく改正案に関しては技術的変更を伴う改正がないことが確認され、採決を行ったところ、液化石油ガス器具等関係基準分科会委員(6名)の過半数の賛成(出席委員 6 名全員の賛成)により可決された。

- ・資料 4 の「1.目的」が見にくいいため、記載方法は検討したほうがいように思う。

→今後検討させていただく。

- ・資料 4 の「1.目的」において、電気式ダイヤフラム式自記圧力計と電気式ダイヤフラム式圧力計があるが、違いは何か。

→自記できるものと自記できないものがあり、それを書き分けている。

- ・資料 4 について、液化石油ガス用と定義付けされたが、「2.適用範囲」にも液化石油ガス用が必要なのか。

→「1.目的」において、液化石油ガス用自記圧力計は定義していないため、「2.適用範囲」において記載している。

- ・資料 5 p.13 の静荷重について、高圧用と中圧用の違いは何か。

→高圧用の場合は高圧のため細い径のものがあり、1/2 以下は同程度にされているものと考えられる。

- ・資料 6 p.2 3.(1)において、「方法」から「試験結果の表し方」と内容が変更となっているように見えるがどうか。

→JIS 側の項目名の変更であり、内容の変更はない。

#### 5. 高圧ガス保安協会技術基準の改正(4~7))について

##### 5.1 液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース基準(KHKS 0721)の改正について

事務局より資料 7, 8 及び参考資料 2 を用いて、液化石油ガス燃焼器接続用継手付ホース基準(KHKS 0721)の改正について説明があった。

説明後、以下の意見交換等が行われた後に、当該資料に基づく改正案について採決を行ったところ、液化石油ガス器具等関係基準分科会委員(6名)の過半数の賛成(出席委員 6 名全員の賛成)により可決された。なお、資料 8 中の寸法の単位の追加及び附属書 4 の注記の削除は行う上で賛成となった。

- ・資料 8 で、附属書が追加されているが、本体に入れずに分かれている理由は何か。

→本文に入れてはいけない理由はないが、過去のまま継続している形である。

- ・資料 8 のプラグやソケットの寸法だが、単位が記載されていないようだがどうか。

→資料中の不備である。事務局の方で対応させていただく。

・資料 8 p.5 において、めねじの図にめねじ及びおねじが記載されているように見えるがどうか。  
→元々 Rc ねじの図を使っているためであり、TU ねじについては別の図になるため、代表的な図にしているものかと思う。

・附属書 4 のプラグの寸法だが、注 1 について、プラグの中に安全機構が含まれていないものなので、記載は不要かと思う。  
→ご指摘のとおり対応させていただく。

## 5. 2 調整器基準(KHKS 0735)の改正について

事務局より資料 9 及び 10 を用いて、調整器基準(KHKS 0735)の改正について説明があった。

説明後、当該資料に基づく改正案について採決を行ったところ、液化石油ガス器具等関係基準分科会委員(6名)の過半数の賛成(出席委員 6 名全員の賛成)により可決された。

## 6. 液化石油ガス用マイコン型流量検知式自動ガス遮断装置関係基準について

事務局より資料 11~13 及び参考資料 3-1~3-3 を用いて、液化石油ガス用マイコン型流量検知式自動ガス遮断装置関係基準の改正及び廃止について説明があった。

本件については今回の分科会では審議せず、次回分科会で審議したい旨事務局から説明され、了承された。質疑等は以下の通り。

・参考資料 3-1 で、改正後はⅡ型とⅠ型は削除というのは良いと思うが、それ以外のものを 2 つに分類する理由は何か。

→家庭用と業務用で区分する予定のため、2 つに分類することを考えている。ただ、次回分科会の審議時までには時間があるため、関係団体と検討したい。

→ガスメーターメーカーの意見としては、E 型を製造する際に従来型の S 型と差別化したものであるため、今回合わせていいのかという議論があったのは確かである。使い勝手としては、現在は分かれているため違和感があると思うが、おいおい見慣れていくものとも思う。

## 7. その他

審議した規格の改正案については、2022 年 2 月 18 日開催予定の液化石油ガス規格委員会に上申することが確認された。

また、議事録案については後日メールにて確認いただくこととした。

さらに、編集上必要な技術的内容を含まない字句修正について、小川主査及び事務局に一任いただくこととなった。

最後に、第 2 回分科会は 2022 年 1 月 20 日~1 月 31 日の間で調整することとなった。

以上